

伊具を取るの はどっちだ

ともに戦国の英傑・伊達植宗の血を受けた伊達と相馬の戦いは、伊具郡争奪戦へ。伊達政宗初陣の地丸森で、戦国南奥を切り取る。地元の方、戦国ファン、初心者歓迎。



伊達輝宗

「伊具を狙う相馬氏」
山田将之 伊達市教育委員会学芸員
「伊達輝宗の伊具奪回作戦」
佐々木徹 仙台市博物館学芸員



相馬義胤

本日の基礎知識

「伊具の戦国と城館」

菅野正道 仙台市史編さん室長

2014年11月24日

(休日)

会場：丸森まちづくりセンター
(丸森町役場となり)
981-2152 宮城県伊具郡丸森町字鳥屋 120
13:30~16:30 (開場・受付12:00)
★入場無料★事前申込み不要★定員 250名

◆主催：丸森町・丸森町教育委員会・公益財団法人上廣倫理財団 ◆共催：金山自治会・小斎振興協議会・丸森地区協議会
◆協力：金山地区歴史伝承会・金山保勝会・小斎歴史伝承会・丸山城保勝会 ◆後援：文化庁
◆問い合わせ：0224(72)3036 丸森町教育委員会

上廣歴史文化フォーラム丸森 伊具を取るのぼつちだ

2014

11/24

大河ドラマ『独眼竜政宗』から四半世紀以上、歴史研究は進み、新しい発見や見方が生まれています。三人の講師をご紹介します。

菅野正道 仙台市史編さん室長

「伊具の城と館」

石垣、白壁、天守閣の一般的なイメージとは違う、中世の「戦う城」が丸森にありました。丸山、小斎、金山、三つの城の実例から伊具戦国の様相をわかりやすく解説いただきます。

山田将之 伊達市教育委員会学芸員

「伊具を狙う相馬氏」

伊達や南奥羽の諸氏に比べて、資料制約がある相馬氏。意外と知られていない相馬氏の立ち位置と動きを全体的に捉えつつ、伊達と戦った伊具戦の意味と位置づけを語っていただきます。

佐々木徹 仙台市博物館学芸員

「伊達輝宗の伊具奪還作戦」

独眼竜政宗の父、伊達輝宗。伊達相馬共通の祖先、英傑伊達植宗の眠る「伊具郡奪回」とは、輝宗の諸施策の中でどんな意味と位置を持っていたのか。輝宗以前、以後の話を絡めて語っていただきます。

**小斎・金山・丸山・矢ノ目から
四本の狼煙が上がる!!**

伊具には当日話題になる丸山城、小斎城、金山城の三つの城跡が残っています。午前中に丸森に着ける方は、**時半に小斎の物見櫓までお出かけになりませんか。**現地説明の後、三つの城と小斎眼下の矢ノ目館址から、呼び合うように狼煙が上がります。遠くに蔵王を望み、阿武隈川が貫く伊具盆地が、一瞬にして戦国絵巻に見える、はず。写真は小斎から丸山方面を望む冬景色。車で行けないところがあるのが難点ですが、できればお誘い合わせ、乗り合わせておいで下さい。フォーラム会場から余裕を見て三十分。細い道、曲がった道も通ります。ナビを使う方は小斎まちづくりセンター(〇二二四一七八―一一一)で検索を。狼煙が上がるのは十一時の予定です。



会場に早く入れば:

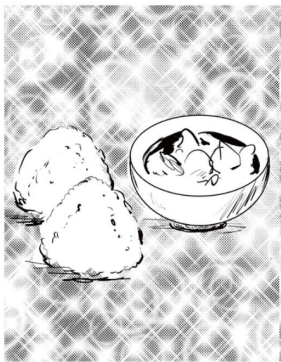
河北新報日曜第二朝刊『かほびよんこども新聞』隔週連載の、マンガ『独眼竜政宗』を、第一話からこの日までの掲載分全話を会場に掲示します。

マンガの中の物語ではありませんが、政宗初陣の伊具戦における相馬と伊達の戦い、その因縁も描かれています。途中回を見逃した方、遠方で、ホームページで一年遅れでお読みになっている方は、ぜひ会場でご覧下さい。

腹が減っては戦を聞けぬ

催し物で遠征すると、せつかくだらあれも見たい、これも買おうと頑張つて、つい後回しになるのが昼ご飯。おなかが減つてはお話の内容を聞き逃すかも。そんなお客様へ、地元のお母さんたちが会場に**五百円でおにぎり二個と芋煮、限定二百セット**をご用意します。宮城の芋煮を、一度食べてみたいと思つていた方には、チャンスです。小斎自慢のお米です。

この絵は想像図でござる。



丸森へは、阿武隈急行が便利です。丸森駅からはタクシー、無料レンタサイクル(数に限りあり)のほか、徒歩では約30分。時間によってはウィークエンドパスのるん号(料金100円)も便利です。



午前中、三つの城から上がる狼煙がよく見える、小斎の物見櫓はこちらからすぐ。



阿武隈急行をご利用のお客様へ 阿武隈急行を2名以上で利用されるとお得な助成制度があります。詳しくは丸森町阿武隈急行利用促進協議会(丸森町企画財政課内)0224(72)3024へ 会場に便利な電車◆福島からは阿武隈急行10時49分福島発11時41分丸森着◆仙台からはJR11時04分仙台発(快速)11時25分槻木駅乗り換え 阿武隈急行11時34分発 11時58分丸森着